



今回紹介する作品はメガズーン  
23 PART Iです。

この作品は1985年に発表されたOVAで、「メカ」「美少女」「巨大宇宙船」という男の子が大好きな設定で作られている作品です。

テレビアニメ「超時空要塞マクロス」(よもやばなし2020葉月 向日葵の間参照)のメインスタッフが再び集結して制作し、当時セルアニメの価格が1本2万円近くした時代に26,518本という過去最高の売上を記録しました。

あらすじとしては、1980年代の東京を舞台に青春を謳歌していた主人公にある事がきっかけに軍が秘密裏に作った「ガーランド」というバイクを手にする。その後バイクを取り戻したい軍との交戦やそのバイクがこの世界の根幹にかかわっていることがわかり思い悩みながら進んでいくというものです。

この作品、シリーズとして3本制作されているのですが、シリーズごとにキャラクターデザインや作画が大きく替わっており主人公も同一人物とは思えない程です。僕は1作目が好きだったので2作目とのギャップでかなりショックを受けました。また、PART Iの主人公の声を演じているのがNHKで放送されていた工作番組「つくってあそぼ」に出演していた「ワクワクさん」と久保田雅人さんなんにも驚きました。(次回に続く)



# よもやまばなし

## 卯月：桜の間

もうすっかり春です!満開の桜の木もチラホラ。入学式まで頑張って咲き続けてほしいです。悲しい出来事が多いこの頃ですが、桜を見つめながら、この生活を当たり前に過ごすことができる幸せを噛み締めながら、平和をお祈りするばかりです。

## 温暖化を放置してロシアと仲良くしよう

今回は、このしょもないタイトルを3本の線で納得いくように説明する話です

その①赤い線：日本には資源がない。ほぼ輸入。石油も物資もこの赤線海路で運ばれてくる。超重要。日本の動脈。ここを抑えられたら日本はすぐ死ぬ。

その②緑の線：「第一列島線」中国が設定した「なんかあつたらここまで俺らのもんだから」の線。2015年までにこの範囲の戦力確保・配備済み。つまりこの線から左(中國)側は危険。①の赤線とかぶってる。超危険。ちなみに赤線の西の方は海賊の多発地帯で治安が悪く、やっぱり危険。

その③青い線：ほとんどロシア沿岸を通る「北極海航路」凍る。通れない。と思ったら温暖化で通れるようになってきた。赤線航路より近いし割と安全。温暖化が進行すればそのうち通年開通する。中国も「氷上のシルクロード」とか言って注目しあはじめてる。今のうちに先手を打つべし。

だから、温暖化なんかほつといてロシアと仲良くしよう、という話なのです。これは極論ですが、ここには嘘や空想の内容は含んでいません。昨今の報道や世論では「かわいそう」「ひどい!」といった感情的なものが優先して伝わりがちですが、一步下がって俯瞰してみると違った世界が見えてくるかもしれません。



私が『最近の出来事』  
の報告書



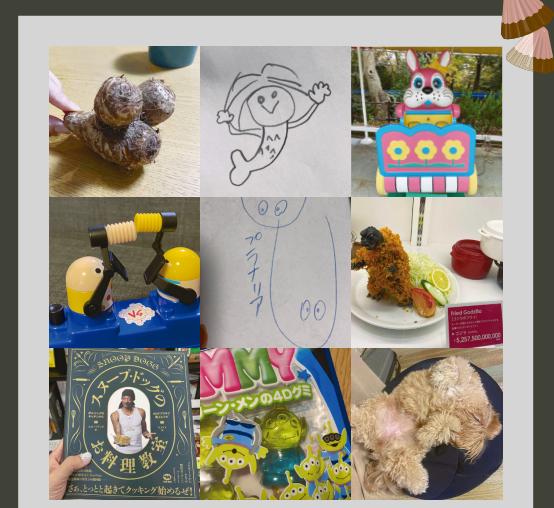
夜な夜な折り、完成させ、  
そしていらない

### 【折り紙】

私は折り紙が好きで、100均で可愛い好みの折り紙をみつけた時は買ってしまいます。



最近の流行りは裏がクラフト紙になっているタイプの折り紙です。夜な夜なYouTubeなどを見ながら1人黙々と折るのですが、あがって満足→いらない...。これを繰り返す日々です。



『ロック中』写真フォレダギャラリー  
の報告書

